

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
御師の家		第2章③ P.22	
教科(領域)等	家庭分野 総合的な学習の時間	学年(分野)	1～3年生(内容B, Cの生活の課題と実践)

### 1. 教材のねらいと概要

富士のふもとのくらし(御師の家)について理解を深める。  
 ・富士山信仰の面影が残る御師の家を衣食住の視点から掲載している。

### 2. 活用例

①

教科名等	家庭科	単元(題材)名等	生活の課題と実践
活用場面		活用のポイント	
			時間
生活の課題と実践		<ul style="list-style-type: none"> <li>御師の家について知る。</li> <li>御師の家に関わる衣食住についてキャラクターの投げかけや資料をもとに考察したり、自ら発見的に調べたり実習や体験をしたりする学習の導入として活用する。</li> </ul>	30～50分

②

教科名等	総合的な学習の時間	単元(題材)名等	身近な地域(仮)
活用場面		活用のポイント	
			時間
富士山のふもとの歴史などを学習する場面		富士山のふもとの歴史などを調べるきっかけとして、また、御師の家を調べるために、キャラクターの投げかけを基に考えたり調べたりする。	
			30～50分

### 3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P.22 	表通りから細長い道を入った奥に御師の家があるのはなぜだろう。	富士山の麓の地形との関連をつかませる。	東西に細長い土地に家があるため。上吉田の御師町は雪代(富士山の融雪洪水)を避けるため、また、浅間神社に近いことから1572年に古吉田から現在の地に移転した。その時、表通りをはさんで東西に短冊形の細長い敷地に屋敷割りされた。奥に屋敷を構えたので細長いタツ道ができたと考えられる。家の奥には御神殿があり、奥に行けばいくほど神聖な場所と考えられていた。
P.22 	なぜ白い服装で富士山に登るのかな。	富士山信仰の歴史に関心を持たせる。	「富士山」を霊山として信仰している人たちを富士講といい、清く穢れ(けがれ)のないことをあらわすために、白を身に付けて登山を行った。衣服には朱印があるものや修行の免許が縫い付けてあるものもある。
P.22 	御師の家の役割を調べてみましょう。	御師の家を調べることにより、富士山信仰の歴史や文化を知る。	個人の住宅を宿坊として提供し、また、信仰者に代わって祈祷をして信仰を広める役割をしていた。

### 4. 写真・資料の補説

#### (1) 御師 幕末から明治期の外川家当主

幕末期の当主は外川登(のぼる)。登は幼名を林太郎といい、1849年生まれ。1862年に父が死去したため、12歳という若さで跡を継いだ。1869年(明治2年)21歳で代々の襲名「能登」から1字を取って「登」と名乗った。

#### (2) 御師の家 旧外川家住宅

ふじさんミュージアム附属施設 世界遺産富士山構成資産 重要文化財  
 ○タツ道から見る旧外川家住宅 ○旧外川家住宅内 上段の間(最も格の高い客室)は床が一段上がった造りになっている。北面に床の間があり、畳敷きの広縁に張り出した付書院がある。○御神前 富士山の心霊を祀る神殿が設けられた場所。富士講登山者は、ここに座し、祝詞や御神歌を唱和した。富士講登山の安全祈禱を行う神聖な場所。○富士講登山の服装 富士講の白装束。

#### (3) 江戸時代に振る舞われていた御師料理再現

富士吉田市が2013年に県内で開催された第28回国民文化祭の一環で、江戸時代に振る舞われたとされる御師料理を再現したもの。(写真は2012年10月13日試食会)もてなし料理であったため、品数が多い。ワークシートで配置を確認することで、和食の配膳も知ることができる。

### 5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・編者	発行年
御師 旧外川家住宅展示解説およびパンフレット	ふじさんミュージアム		
世界遺産富士山のヒミツ	富士吉田市教育委員会	富士吉田歴史民族博物館	2013年
関連施設名	住所	電話	
御師旧外川家住宅	富士吉田市上吉田3丁目14-8	0555-22-1101	
ふじさんミュージアム	富士吉田市上吉田2288-1	0555-24-2411	
参考ホームページ			
ふじさんミュージアム			